

災害看護専門看護師のキャリアパス

入職時は災害に対して全く興味のなかった私ですが、入職後に日赤独自の研修を受ける中で日赤の使命として災害救護があることを知りました。そのような中、東日本大震災や熊本地震で救護員として派遣される機会を頂き、巡回診療や病院支援を通して災害看護の実践を行いました。また、救命救急センターで東京DMAT、日本DMATの隊員資格を得て、災害現場活動を行っていくことも災害専門看護師を目指すきっかけとなりました。

入職

12年目
大学院進学

実践を行う中で災害看護の学びを深めたいと感じ、隣接している日赤看護大学で災害専門看護師課程を専攻しました。1年間は休職しましたが、2年目は夜勤専従を行いながら学校へ通いました。在学中は新型コロナウイルス感染症の影響から、オンライン授業やオンラインでの実習などを余儀なくされましたが、災害の思慮が深い先生方から学びを受け、志の高い同級生たちとともに学びを深めることができました。

当院での災害看護専門看護師は初めてであるため、活動を確立することから始めました。被災者が災害により苦しむことを低減することを大きな目標とし、短期目標と長期目標(5カ年計画)を作成しました。主な活動として、院内で災害の委員会活動や災害マニュアルの整備、DMAT体制の整備、日赤救護員の育成などを国内医療救護部と協働して行っています。

14年目
専門看護師
認定

現在

救急外来でのマニュアル作成や新たなアクションカードの作成とともに、災害リーダーNsと連携し、各病棟のマニュアル作成を行っています。また、地域の方々へ向けた防災・減災セミナーの準備を行い、地域での防災活動が行えるような企画を行っています。